

添付図表：佐野市における市民参画の特徴

表1「年表：佐野市生涯学習推進の経緯」

1993年(平成5年)	4月	佐野市生涯学習推進基本構想「私らしさ咲かせます」策定
	10月	佐野市「私らしさ咲かせます 楽習のまち佐野」都市宣言
1997年(平成9年)	4月	田沼町生涯学習推進計画「素敵だね いつでも何かを学ぶ人」策定
1998年(平成10年)	4月	佐野市・田沼町・葛生町合併協議会設置
1999年(平成11年)	3月	葛生町生涯学習支援計画「くずう活躍人プラン」策定
2005年(平成17年)	2月	新佐野市発足(人口12万7千人)
	8月	岡部正英市長から佐野市生涯学習推進協議会(亀田武司会長)に対して佐野市生涯学習推進基本構想について諮問
2006年(平成18年)	10月	佐野市生涯学習推進協議会「私らしさ このまちに 咲かせますー佐野市生涯学習推進基本構想について」中間答申
2007年(平成19年)	3月	佐野市総合計画基本構想・基本計画「育み支え合うひとびと、みずと緑と万葉の地に広がる交流拠点都市」(平成20~29年度)策定
		佐野市生涯学習推進協議会「私らしさ このまちに 咲かせますー佐野市生涯学習推進基本構想について」最終答申
	5月	佐野市生涯学習推進協議会「佐野市生涯学習推進ID作成ワークショップ」
		佐野市生涯学習推進本部設置(本部長：岡部正英市長)
	7月	佐野市放課後子どもプラン運営委員会設置
12月	佐野市放課後子どもプラン運営委員会「放課後子どもプランの推進方策についてー青少年の居場所づくりと子育てのまちづくり」提言	
2008年(平成20年)	3月	佐野市生涯学習推進本部「佐野市生涯学習推進基本構想・基本計画ー私らしさ このまちに 咲かせます」策定

表2「佐野市生涯学習推進協議会中間答申の構成」

見出し	頁	3 生涯学習推進構想への提言	21
I はじめに		一資料編一	
1 本中間答申までの経緯	1	【活動事例】	
2 本中間答申の背景	1	(1) 鏡塚宮比羅神楽の伝承	23
II 中間答申の趣旨		(2) 地域女性会の活動と課題	23
1 中間答申の趣旨	5	(3) 子ども会を通じた青少年健全育成の活動	24
2 専門部会の構成と検討の基本的な柱	7	(4) 葛生における「原人祭り」等の地域おこしの活動	25
3 答申の構成	8	(5) 老人クラブによる三世代交流事業	27
III 中間答申		(6) 市民による「佐野市まちづくり研究会」の活動	28
1 まちづくりへの参画	9	(7) 不登校、ひきこもりなどの子どもの	29
(1) 郷土愛をはぐくみ、ふるさとを守るために	9	【関連事業】	
(2) 田中正造などの郷土の偉人の整理と提示	9	(1) 青年が参画する佐野市青年団体活動促進事業	31
(3) 少子高齢化社会の問題解決	10	(2) 子どもの居場所づくり事業	31
(4) 男女共同参画によるまちづくり活動	11	(3) 親学習プログラムを活用した家庭教育支援事業	32
(5) 河川、山林、農地等に関する学びと山村振興活動	12	(4) 地域の子育て支援者として活動する	33
(6) 家庭・地域に支えられる「中心市街地活性化」	14	(5) 協働による生涯学習の推進活動「楽習出前講座」	33
2 子育てのまちづくり		(6) 自然体験活動の活性化と	34
(1) 支え合う仲間との活動の重要性	15	(7) 社会体育の基本方針	35
(2) 家庭教育の回復と親学習プログラムの開発	16	【参考資料】	36
(3) 子どもや若者の居場所をつくろう	17	(1) 平成17年度「市政に関するアンケート調査結果」	36
(4) 地域子育て宝物マップづくり	18	(2) 「こどもの街宣言」(旧佐野市)(平成5年)	40
3 幅広い生涯学習活動の活性化	18	(3) 「佐野市協働のまちづくり推進会議」報告から	41
(1) 趣味・教養分野の市民研究成果の社会還元と	18	(4) 専門部会④「わかまち発見交流部会」の作業結果	42
(2) 健康づくりと仲間づくり	19	(5) 地域立脚型から地域一体型を目指す大学・短期大	44
IV わたしたちからの呼びかけ		(6) 「まちづくり」を通じた住民参画の先進地事例	44
1 市民の仲間たちへ	21	(7) 市民会議を中心とした生涯学習の推進	48
2 佐野市行政へ	21		

表3「佐野市生涯学習推進基本構想・基本計画の構成」

<p>基本構想</p> <p>I 基本構想の趣旨</p> <p>II 基本構想策定の必要性</p> <p>III 基本構想策定までの経緯</p> <p>IV 生涯学習推進の基本理念</p> <p>V 生涯学習推進の基本方針</p> <p>1 「私らしさ」が発揮される生涯学習によるまちづくり</p> <p>2 市民・行政の役割と協働</p> <p>VI 生涯学習推進の主要課題及び方向性</p> <p>1 まちづくりへの参画</p> <p>(1) 郷土愛をはぐくみ、ふるさとを守る活動の支援</p> <p>(2) 社会の課題の解決に取り組む学習活動の支援</p> <p>(3) 少子高齢社会への対応</p> <p>(4) すべての人にやさしい社会の実現</p> <p>(5) 環境にやさしい社会の実現</p> <p>(6) 地域に支えられた産業の振興</p> <p>2 子育てのまちづくり</p> <p>(1) 子育て仲間づくり活動の支援</p> <p>(2) 家庭教育の推進と地域教育力の向上</p> <p>(3) 青少年の居場所づくりと参画促進</p> <p>(4) 地域子育て資源の再発見と活用</p> <p>(5) 市民・学校・行政の協働の促進</p> <p>3 幅広い生涯学習活動の活性化</p> <p>(1) 市民研究活動の促進と高等教育・行政機関との連携</p> <p>(2) スポーツ・健康・趣味・教養分野における仲間づくり活動の促進</p> <p>(3) 生涯学習施設の充実と有効活用</p> <p>(4) 学習情報提供・相談事業の充実</p> <p>(5) 多様化する学習ニーズに対応した学習機会の提供</p>	<p>(6) 学習成果の社会還元への促進</p> <p>(7) 生涯学習を総合的に支援する体制の充実</p> <p>基本計画</p> <p>I 基本計画策定にあたって</p> <p>1 計画の方針</p> <p>2 計画の性格</p> <p>3 計画の期間</p> <p>II 施策体系</p> <p>1 体系化の目的</p> <p>2 体系化の視点</p> <p>3 分類について</p> <p>4 施策体系図</p> <p>III 生涯学習推進事業一覧</p> <p>IV 生涯学習推進重点プロジェクト</p> <p>1 学習・まちづくり情報システム整備事業</p> <p>2 子育てまちづくり支援事業</p> <p>3 学習・参画活動拠点整備事業</p> <p>参考資料</p> <p>1 生涯学習拠点・子育てまちづくり拠点一覧・マップ 「佐野市生涯学習推進協議会答申資料」より</p> <p>(1) 拠点一覧表 68</p> <p>(2) 佐野市生涯学習拠点マップ</p> <p>(3) 佐野市子育てまちづくり拠点マップ</p> <p>2 佐野市生涯学習推進基本構想・基本計画策定の経緯</p> <p>3 佐野市生涯学習推進協議会条例</p> <p>4 佐野市生涯学習推進協議会委員名簿</p> <p>5 生涯学習推進本部設置要綱</p> <p>6 佐野市生涯学習推進体制組織図</p>
---	---

表4「宣言文の構成」

<p>「楽習と参画のまち佐野」都市宣言</p>	
<p>【まちづくりへの参画】</p> <p>私たち佐野市民は、ひとりひとりが楽習をとおして個人として深まり、その個性を生かし、協働して佐野のまちづくりに参画します。たがいに自分らしさを認めあい、支えあい、はぐくみあう仲間をつくります。まちづくりへの参画のなかで、自分らしさを佐野のまちに咲かせます。</p>	
<p>【環境・安全】</p> <p>私たちはふるさとを守り、はぐくみます。家庭、地域、学校、職場のなかで、世代や価値観の違いを越えた心の交流を広め、安全で安心なまちをつくります。</p>	
<p>【子育て】</p> <p>子育てのなかで親が育ち、こどもが愛されて育つまちをつくります。</p>	
<p>【ふるさと】</p> <p>私たちは佐野のもつすばらしい自然と文化を学びます。ふるさとの自然を守り、ふるさとから文化を発信します。ここに佐野市を「生涯学習都市」とすることを宣言します。</p>	<p>平成19年12月25日 佐野市</p>
<p>【補足説明割注】</p> <p>私たち佐野市民は、ひとりひとりが楽習をとおして個人として深まり^(注1-1)^(注2-1)、その個性を生かし、協働して佐野のまちづくりに参画します。たがいに自分らしさを認めあい、支えあい、はぐくみあう仲間をつくります^(注2-2)。まちづくりへの参画のなかで、自分らしさを佐野のまちに咲かせます。</p> <p>私たちはふるさとを守り、はぐくみます。家庭、地域、学校、職場のなかで、世代や価値観の違いを越えた心の交流を広め^(注1-2)^(注2-3)、安全で安心なまちをつくります^(注1-3)。子育てのなかで親が育ち、こどもが愛されて育つまちをつくります^(注1-4)^(注2-4)。</p> <p>私たちは佐野のもつすばらしい自然と文化を学びます。ふるさとの自然を守り、ふるさとから文化を発信します。ここに佐野市を「生涯学習都市」とすることを宣言します。</p>	

【補足説明注記】

この宣言文は、市民参画の視点から佐野市生涯学習推進協議会に諮問し、その答申を原案として検討し、作成されたものです。この宣言文の趣旨を一層市民の皆様にご理解して頂けるよう、協議会の中で論議された内容について、協議会の意向により説明するものです。

【説明1】には、宣言文の中に盛り込みきれなかった文章を掲げました。【説明2】には、宣言文に表しきれなかった内容を掲げました。

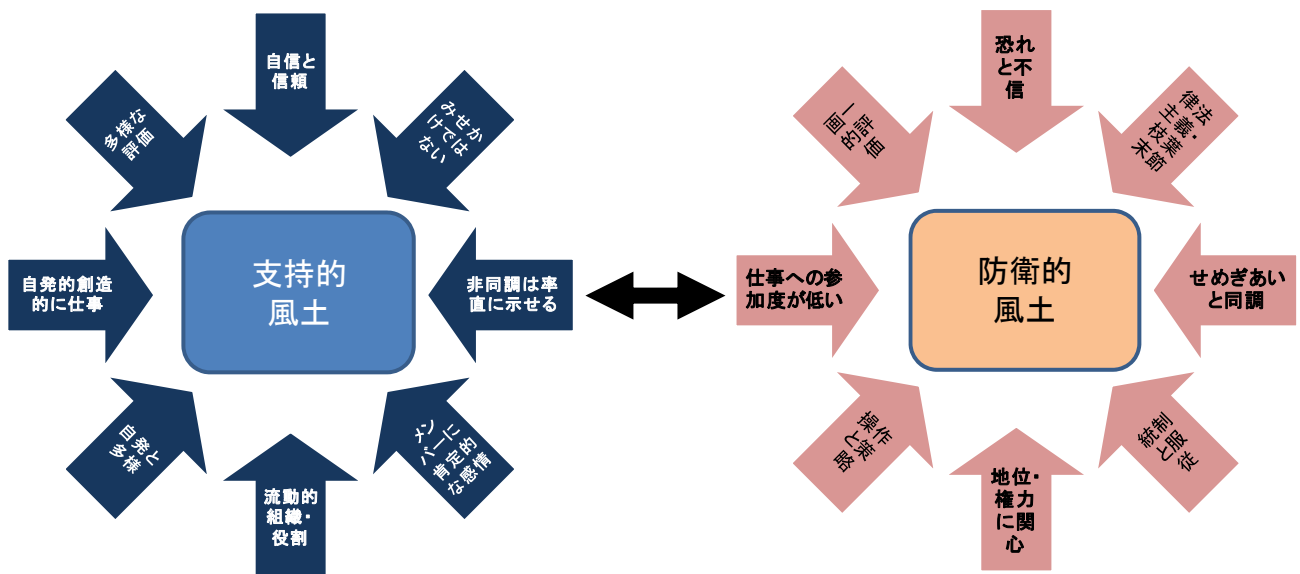
【説明1】

- 注 1-1 仲間とともに、健康を守り、豊かな趣味・教養を味わって自己を高めます。
- 注 1-2 産業・観光をいきいきと発展させ、日本や世界に開かれたふるさとを創り出します。
- 注 1-3 地球環境を守り、地域に安心と安全を広めます。子どもが地域で楽しく遊び、大人も安心して暮らせる安全なまちをつくり出します。人間的な食文化、地球に優しい消費生活を学び、家族や仲間といっしょに地域に広めます。世代を越えて育み合い支え合い、信頼関係を深めて、犯罪のないまちをつくり出します。
- 注 1-4 大人が子どもの話によく耳を傾け、愛情をもって接し、家庭や地域で学び合うまちをつくり出します。子どもが夢を持ち、人生をかけて追い求めるものを、世代を越えて応援するまちをつくり出します。親も子どもも、ほかの大人たちも、認め合い、支え合うことのできる「心の居場所」を地域に広げます。子育てのなかで親も育ち、市民同士が支え合う子育てのまちをつくり出します。

【説明2】

- 注 2-1 しかめ面で学ぶ学習よりも、参画活動のなかでいきいきと学ぶ学習を大切にしたい。自己を高め、他者と認め合い、つながり、佐野のまちづくりを広げていきたい。まちづくりへの参画のおおもとには、ひとりひとりの学習で形づくられる「個の深み」がある。子どもたちが懸命になって「基礎・基本」を勉強したり、大人が資格取得などのために必死になって勉強したりする姿を否定するものではない。しかし、それについても、仲間をつくって「学習」できれば、さらに素晴らしい。
- 注 2-2 市民一人一人にとっては、独学や個人学習も大切である。しかし、個人の人生にとってもかけがえのない仲間と出会い、学び、仲間とともに子育てや環境のまちづくりに参画する姿も大切なので、生涯学習の理想像として宣言した。
- 注 2-3 佐野を「より開かれたまち」にしたい。「共生のまち佐野」をつくりたい。そのためには、価値観、国籍、民族、宗教などが違って共存できることと、「持続可能な社会」等の市民にとっての課題を共有できることの両方が必要である。
- 注 2-4 「子育てまちづくり」のイメージとして、「こどもの街宣言（旧佐野市）」（平成5年）の以下の文章を大切にしたい。「本来の意味で、子どもを愛するまちをつくらう。本気で子どものことを考える大人のいるまち。毎日、子どものことを話題にするまち。遊んでいる子どもにひと声かけてくれる大人。声かけられたら「はい」と素直にきける子どものいるまち。叱られて、叱られて、ぐっと抱きしめられることが、子どもの真の幸せってことがわかる大人と子どものいるまち。人に親切、人の傷みをわかりあえるまち」。また、「子どもが愛されて育つまち」は、「佐野市こどもの街宣言」（平成19年3月22日）における次の考え方と同じ意味を表すものである。「親が、家庭が、学校が、地域社会が、子どもを大切に育て、見守り続けるこどもの街を宣言します。子どもは、人間として尊重される。子どもは、よい環境で育てられる。子どもは、自由に意見をいい、社会に参加する」。

図1 「支持的風土と防衛的風土」(Gibb, C. A.、1969)



(片岡徳雄『学習と指導—教室の社会学』から西村美東士作図)